

目の相談室 のびのび



福島県立視覚支援学校
地域支援センター
令和元.12.2 No. 3

今年の夏は一段と暑さが続き、一気に冬がやってきました。一年の締めくくりである師走、なにかとお忙しくお過ごしのことと存じます。

さて、今年度最終号の目の相談室だより「のびのび」では、のびのび教室サポートクラブの今後の予定と、今年度実施した出前授業の様子等をお知らせいたします。



のびのび教室サポートクラブについて



本校の担当者が各地域に出向いて行う「サテライト教室的相談会」です。

対 象 見えにくさのある乳幼児、児童生徒や成人の方、保護者、ご家族、指導・支援にかかわる先生方、関係者の方

時 間 14:00～15:30

※参加者数によっては時間が前後することがあります。

相談内容 視機能評価、補助具の選定及び使い方の指導等、拡大教科書の文字の選定に関する事、点字の指導、歩行指導、あそびや学習、進路や就労に関する事等

【第3回のびのび教室サポートクラブ】

県北地区	2月 6日(木)	福島市保健福祉センター
県中県南地区	1月30日(木)	須賀川市教育研修センター
いわき地区	1月16日(木)	いわき市総合教育センター

※参加申し込みを希望される場合は、3週間前までに「地域支援センター目の相談室のびのび」までお申し込み下さい。

地域支援センター 目の相談室 のびのび

相談専用 TEL 080-7347-3908 mail shien-gr@fcs.ed.jp
〒960-8002 福島市森合町6-34

※地域支援センターは県立視覚支援学校に設置されています。

学校 TEL 024-534-2574 FAX 024-533-2470

ホームページ <https://fukushima-sb.fcs.ed.jp>

啓発授業 レポート

視覚支援学校では、視覚障がいへの理解・啓発活動として小中学校等への出前授業を行っています。今年度は、小学校3校で実施しました。

今回は、その様子の一部をお知らせします。次年度の計画立案の際にご参考になさってください。

* 今年度実施内容 *

- 9 月 「視覚支援学校の学習について」
伊達市 第5学年 児童 73名対象
- 9 月 「地域で共に生きるために」
福島市 第5学年 児童 13名対象
- 11月 「見えにくさから生じる活動の困難さに対するサポートの仕方について」
福島市 第3学年 児童 22名対象



○ 全盲体験

- ・アイマスクを使用し、歩行体験及び手引き体験（ガイド）を行う。
- ・五十音表を見ながら点字を書いたり読んだりする。



○ 弱視体験

- ・シュミレーションレンズを使って読み書き体験を行う。
- ・補助具等の体験を行う。（携帯型拡大読書器、拡大教科書、大活字本、単眼鏡、ルーペ等）



<児童達からの感想>

- ・おどろいた体験は、自分の名前を点字で打ったことです。三回目にやっと成功して正しく読んでもらえてうれしかったです。点字を打つ難しさに驚きました。
- ・先生の話聞いて感動したことは、目が見えなくなっても、これからどうしようと思ったことがないところです。点字がなかったら人に聞くということ、つまり話すことの大切さを学びました。
- ・道具体験では、遠くまで大きく見える単眼鏡にはおどろきました。特別なゴーグルをかけた体験では、大きな迷路のほうが簡単だと思いましたが逆でした。大きいほうが楽にできるとは限らないと思いました。



* 質問等あれば、いつでも受け付けいたします。

